

同志社大学大学院社会学研究科

2025 年度 春期実施

課程：後期

専攻：産業関係学

No. 1

入 学 試 験 問 題

(注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。

☒ 別紙の解答用紙 2 枚に解答すること。

試験科目

英 語

受験番号

氏名

※

[I] 以下の英文は、Rebick, M. (2005). *The Japanese Employment System: Adapting to a New Economic Environment*. Oxford University Press. <https://doi.org/10.1093/0199247242.001.0001> からの引用
(一部省略あり) である。全文を日本語に訳しなさい。

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

(次ページに続く)

2025 年度 春期実施

課程：後期

専攻：産業関係学

No. 2

入 学 試 験 問 題

- (注) ☐ 問題用紙に直接解答すること。
- ☒ 別紙の解答用紙 2 枚に解答すること。

試験科目 英 語	受験番号
氏名	

(著作権の都合上、問題文を掲載しておりません)

2025 年度 春期実施

課程：後期

専攻：産業関係学

No. 1

入 学 試 験 問 題

(注) ☒ 問題用紙に直接解答すること。
☐ 別紙の解答用紙 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

〔Ⅰ〕フォロワーシップ論では、「賢明な不服従(intelligent disobedience)」の実践が重要だと考えられています。労働組織において上位者等に対する賢明な不服従が実践されるために何が
必要か、個人および組織の視点から考えを述べてください。

※

同志社大学大学院社会学研究科

2025 年度 春期実施

課程：後期

専攻：産業関係学

No. 2

入 学 試 験 問 題

(注) ☒ 問題用紙に直接解答すること。

☐ 別紙の解答用紙 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

〔Ⅱ〕日本における、いわゆるホワイトカラー労働者の生産性が低い理由について、自らの考えを述べてください。

